

彩の国  
さいたま国際協力基金  
助成金申請  
プレゼンテーション

青少年多文化学びサポート (ESMY)

2023.7.28

# 誰の学習支援か

## 青少年多文化学びサポート

**E**ducational **S**upport for **M**ulticultural **Y**ouths

**青**少年＝外国につながる小学生～20歳くらい

**多**文化＝外国籍、国際結婚の子、長い海外生活  
など、多文化を背景に持つ

**学**び＝学校での学習理解につながる日本語や  
教科学習

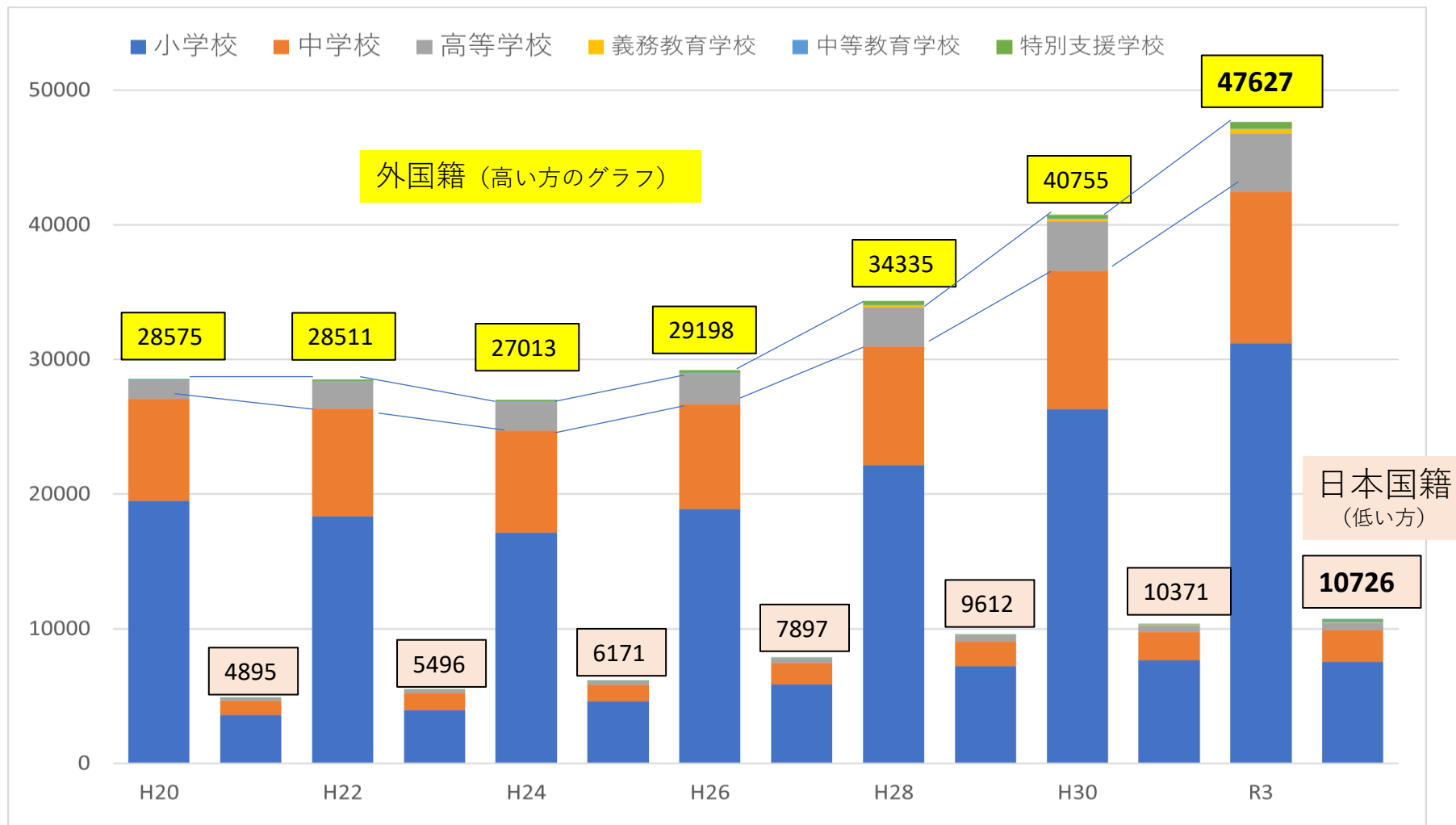
**サ**ポート＝日本文化への同化は求めず、出身文  
化を尊重しながら支援する。

# 日本語指導が必要な児童生徒数

(外国籍児童生徒／日本国籍児童生徒)

文部科学省2021. 5.1調査基準日

増える高校生



※ 政府統計の2つのグラフをESMYで合成しました

# なぜ、 子どもの日本語学習支援なのか

●子どもにとっての日本語

★学校でのサバイバル→

☆友だちや先生との会話

☆学習理解（国語～体育・  
芸術科目など）

★日本でのサバイバル→

**将来の自立へ**

●社会にとっての子ども  
社会から支えられる  
→社会を支える存在へ



高校進学支援



高校卒業支援



高卒後の進路支援  
ますます重要

# 所沢市在住 外国籍児童生徒数の変化 (コロナ前・コロナ後) (2018-2023)

(左列2017.12.31 / 中列2018.12.31. / 右列2023.4.2) 所沢市情報センター

	0~6才			小学生(7才~12才)			中学生(13才~15才)			高校相当(16才~18才)			学齢青少年合計		
計	240	254	282	147	173	214	54	66	96	92	92	95	293	331	405
増減割合	5.8%		11.0%	17.7%		23.7%	22.2%		47.0%	0.0%		3.2%	13.0%		22.4%
日本国籍の保護者がいる場合、途中で日本国籍へ転換することも多い。															

コロナ最盛期に母国で待機していた子どもたちの入国ラッシュがそろそろ終息するこの時期に、**次の変革期（本格的移民時代）に備える。**

ESMYの常時学習者内訳（2023.7.12現在）

**高校生9（近隣の定時制2校に集中）**

就学前幼児5 / 小学生30 / 中学生23（うち中3：12） / 既卒受験1



**高卒後の進路選択の多様化を支援したい。**

# ESMYの支援

(日本語・教科学習支援・居場所づくり・進路支援)

常時学習者の主な出身国 (母国の教育制度が整備されていない国の出身者が多くなっている)

ネパール・パキスタン・バングラデシュ・中国・ベトナム

支援者 会員 63名 支援活動中 46名

## ●支援の形

対面教室：4地区6教室 (9月よりの新教室も含む・オンライン支援有)

オンライン支援のみ：1地区

小中高派遣：教育センター経由 (小・中) / ESMYより派遣

高校1校 (所沢市)：2022年度より

## ●高校進学支援：高校進学ガイダンス(2023.7.22) 協力

説明会同行 / 受験集中支援

## ●支援者研修 (外部・内部)

学校での支援者への公的研修：教育・語学系大学が実施



# これからの支援の課題

これまで

親の仕事を継ぐ・同国人の業界に就職



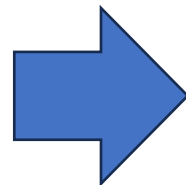
子どもたちの疑問：「大学って？」

「友達はどんな仕事をするのかな？」



高卒後の進路イメージの多様化へ向けて

百聞は一見にしかず



親子で見学に行く  
支援者も情報更新

# 彩の国さいたま国際協力基金 からの支援（緑字部分への）で 親子の進路イメージ多様化へ

【2022年度までも実施】

## ●高校のリアルを体験

高校説明会同行（各学校：受験生・保護者）

## ●高校進学のための日本語・教科学習支援（教材購入）

## ●「中学生と保護者のための高校進学ガイダンス」協力

【2022年度初めて実施】

## ●専門高校と職業との結びつき実感

埼玉県産業教育フェア（大宮：中学生・保護者）

## ●高校生日本語学習支援（日本語力・基礎学力アップ）

【2023年度より包括的实施】

## ●高校受験支援者研修（Ⅰ. 基礎編：会員向けビデオ配信中 Ⅱ. 教材説明：7/22実施 Ⅲ. 計画中）

## ●高校卒業後の進路を考える：

大学キャンパスツアー（県内大学・都内大学：希望する親子または中高生）

オープンキャンパス（希望する高校生）散発実施